

令和 5 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	安心・安全なまちづくり						
施 策 No.	6	施 策 名	日常生活の安全確保						
主管課名	生活環境課								
関係課名	市民課、建設課								
10年後の 目指す姿	安全で住みよい地域社会が実現し、市民が安心して生活を送っています。								
施策の現状 及び課題	現 状	・生活道路や通学路等において、交通事故防止のための交通安全施設の設置や既存施設の修繕を行うとともに、広報活動を実施し、交通安全意識の高揚を図っています。 ・防犯灯の設置や修繕及び防犯カメラの設置を行うとともに、防犯協会（地区防犯組合）、警察などと連携し、防犯パトロールや被害防止啓発活動を行っています。 ・消費生活相談等への相談体制を整え、消費者保護に努めるとともに、関係機関と連携を図りながら、消費者保護対策に取り組んでいます。							
	課 題	・高齢者と子どもの交通事故被害が多いことから、交通安全意識の啓発に取り組むとともに、地域ぐるみで交通安全対策に努める必要があります。 ・犯罪を未然に防ぐため、防犯カメラ等防犯設備を整備するとともに、各地区防犯組合と連携し、自主防犯パトロールなどを実施する必要があります。 ・複雑・多様化する消費生活トラブルについて、消費者保護対策を推進する必要があります。							
施策を進めるための役割分担	行 政	・交通安全設備の整備を行います。 ・市民に対する交通安全教育や意識の高揚を図るための啓発活動を行います。 ・防犯対策設備を整備するとともに、防犯協会をはじめとした防犯組織の強化及び活動の充実、市民の防犯意識の高揚のための啓発活動を行います。 ・消費者保護のための相談体制整備と消費生活等に関する啓発活動を行います。							
	市 民 ・ 事 業 所	・交通法規を遵守し、交通事故防止に努めます。 ・犯罪に遭わないよう、「カギかけ」などの防犯対策を徹底します。 ・地域ぐるみで交通安全や防犯活動を行います。 ・市民自らが正しい知識を身につけ、消費トラブル等に巻き込まれないようにします。							
目指す姿の実現のための取組 （基本事業）	基本事業①	安全な交通環境の充実							
	基本事業②	防犯対策の推進							
	基本事業③	相談体制の充実							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	7 (7)	7 (7)	7 (7)			
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	4 (4)	4 (4)			
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)			
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	42,810	34,115	35,336			
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	15,546	16,467	18,002			
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	25,318	16,467	17,122			
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	1,946	1,181	212			
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	10	11	12			
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	4,200	3,860	4,000				
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	16,477	14,961	15,824				
F. トータルコスト（B+E）		千円	59,287	49,076	51,160				
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式： B／人口）		円	1,058	855	900			
	同 上 H. 人件費（定義式： E／人口）		円	407	375	403			
	同 上 I. トータルコスト（定義式： F／人口）		円	1,465	1,229	1,303			
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876	3,956			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919	39,274			

基本事業概要シート①

施策 No.	6	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名	①安全な交通環境の充実		
基本事業の目的(意図)	交通安全に対する意識の高揚を図るための啓発活動に努め、通学路等交通の安全を確保する必要がある道路を中心に、安全な交通環境を構築します。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【交通安全対策事業】 ・市交通センター、センター地区支部、警察等と連携し、「交通安全県民の日(毎月1日、15日)」及び「春・夏・秋・年末の交通安全運動」において交通安全広報活動を行い、交通安全意識の高揚に努めました。また、交通センターに保育園、小中学校、高齢者等を対象とした交通安全教育、講習会等を委託して開催し、交通安全に関する知識等の普及啓発や安全行動の徹底に努めました。 ・交通安全ドライバーズコンテストを実施し、収集した走行データを活用し「交通安全マップ」を作成し、関係機関に配付しました。 ・高齢者等の運転免許の返納を促進させるため、運転免許返納者(年齢不問)に対して、魚津市民バス無料乗車証(1年間有効)を交付しました。(返納者:令和元年度:215名、令和2年度:191名、令和3年度:176名、令和4年度:180名、令和5年度:163名) 【交通安全施設維持整備事業】 ・市民生活や通学路等の道路において、交通事故防止のための交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)の設置や既存施設の修理を迅速、適切に行いました。 【生活道路整備事業】(再掲) ・通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。 【市営自転車等駐車場管理事業】 ・魚津駅・電鉄魚津駅周辺事業として、魚津駅南側駐輪場の整備を行いました。 ・市営自転車等駐車場(5か所)のうち、魚津駅南、北、西側駐輪場の整理業務等を魚津市シルバー人材センターに委託し、利用サービスの向上と周辺環境の保全に努めました。 【市営駐車場維持管理事業】(施策35①再掲) ・駅南駐車場の維持管理(料金回収、保守点検、トラブル対応等)を適切に行いました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
交通事故発生件数	件	60	51	56 53	52 53	48 28	44	40	20
交通事故死亡件数	件	4	3	0 2	0 2	0 1	0	0	0
通学路安全対策箇所数	箇所	2	2	3 3	4 3	4 4	5	5	8

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) - :評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 交通安全対策事業	5,382,000	5,140,303	241,697	A	生活環境課
2	一般会計	○ 交通安全施設維持整備事業	8,660,000	7,750,806	909,194	A	生活環境課
3	一般会計	市営自転車等駐車場管理事業	3,297,000	2,884,600	412,400	-	生活環境課
4	一般会計	市営駐車場維持管理事業	2,631,000	2,226,013	404,987	-	生活環境課
5	一般会計	○ 生活道路整備事業(施策31②再掲)	(294,247,218)	(241,478,416)	(52,768,802)	A	建設課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			19,970,000	18,001,722	1,968,278		

基本事業概要シート②

施策 No.	6	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名	②防犯対策の推進		
基本事業の目的(意図)	市民の安全確保のため、防犯協会(地区防犯組合)、警察などの関係機関と一体になった防犯活動を推進し、防犯対策設備を整備します。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【防犯対策事業】 ・防犯関係団体(「防犯協会」「暴力追放運動推進協議会」「安全なまちづくり推進センター」)や警察と連携し、防犯パトロールの実施や啓発キャンペーン、広報誌の発行等による被害防止対策や啓発活動を行いました。 【防犯対策施設維持整備事業】 ・夜間における安全・安心の確保のため、市が所有する防犯灯等の修繕等、維持管理を迅速、適切に行いました。また、必要な箇所へ防犯灯(10灯)や防犯カメラ(4台:駅北駐輪場)を新設しました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
刑法犯発生件数	件	161	117	150 129	140 131	130 170	120	110	60
凶悪犯罪発生件数	件	1	1	0 1	0 0	0 0	0	0	0

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 防犯対策事業	755,000	699,398	55,602	A	生活環境課
2	一般会計	○ 防犯対策施設維持整備事業	17,491,000	16,422,286	1,068,714	A	生活環境課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			18,246,000	17,121,684	1,124,316		

基本事業概要シート③

施策 No.	6	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名	③相談体制の充実		
基本事業の目的(意図)	消費生活相談に対応するとともに、関係機関と連携を図り、啓発活動、情報提供に努め、消費者保護対策を推進します。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【市民相談・消費生活相談事業】 ・複雑な消費生活相談や苦情に対応するための相談体制を整え、消費者保護に努めました。 ・消費者トラブルは年々複雑・多様化しており、被害を未然防止するため、消費生活に関する知識の普及・啓発を行うとともに、関係機関と連携し情報提供を行いました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
消費生活相談の解決率 (他機関送致を含む)	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				100.0%	100.0%	100.0%			

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 市民相談事業	3,438,000	211,968	3,226,032	A	市民課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			3,438,000	211,968	3,226,032		

施 策 No.	6	施 策 名	日常生活の安全確保
令和5年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	【①安全な交通環境の充実】 ◆交通事故発生件数(人身事故)は、令和5年は前年比25件減の28件でした。富山県全体を見ると令和4年の1,953件に対し、令和5年は1,873件と減少しています。(※交通事故発生件数 参照「富山県交通事故白書」(カッコ内は令和4年):魚津市28件(53件)、滑川市32件(59件)、黒部市33件(50件)、氷見市41件(34件)、砺波市119件(107件)) ◆交通死亡事故については、令和2年中は3件、令和3年中は2件、令和4年中は2件、令和5年中は、1件と減少傾向にあります。(※交通死亡事故死者数 参照「富山県交通事故白書」(カッコ内は令和4年)魚津市1名(2名)、滑川市1名(0名)、黒部市1名(0名)、氷見市0名(5名)、砺波市3名(2名)) ◆本市における事故全体を見ると、65歳以上の高齢運転者が第一当事者となる事故の割合が高いことが大きな特徴となっています。(令和5年魚津市交通安全事故白書より抜粋) 【②防犯対策の推進】 ◆刑法犯認知件数は、令和5年は前年比39件増の170件でした。富山県全体を見ると令和4年の3,929件に対し、令和5年は4,501件と増加しています。(※刑法犯罪認知件数 参照「富山県警HP」(カッコ内は令和4年):魚津市170件(131件)、滑川市141件(134件)、黒部市84件(106件)、氷見市132件(174件)、砺波市168件(154件)) 本市では、自転車盗や器物破損、オートバイ盗等の主要街頭犯罪は、減少又は同数でしたが、万引き58件(前年比+24件)、侵入盗9件(前年比+7件)が増加しています。人の流れがコロナ前に戻ったことが要因と思われます。 県内における特殊詐欺の認知件数、被害総額ともに増加しており、被害総額は倍増しています。本市では5件(架空料金請求詐欺)認知し、被害総額は約500万円でした。今後も幅広い年齢層を対象にした被害防止対策、鍵かけの呼びかけなど犯罪抑止対策を講ずる必要があります。 【③相談体制の充実】 ◆相談件数は、令和4年度は74件(対前年69.2%)、令和5年度は85件(対前年114.92%)と増加しています。相談内容は複雑・多様化しており、特にネット通販トラブルに関する相談が多くなっています。		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和5年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
【①安全な交通環境の充実】 <交通安全対策事業> ◆市交通センター、センター地区支部、警察等と連携し、「交通安全県民の日(毎月1日、15日)」及び「春・夏・秋・年末の交通安全運動(期間:各10日間)」において交通安全広報活動を行い、交通安全意識を高揚することができました。 ◆交通安全ドライバーズコンテストを実施した結果、自らの危険運転を認識し、安全運転の意識を高めることができました。 ◆運転に不安のある高齢者等が免許を返納しやすくなるよう、返納者に市民バス無料乗車証(1年間有効)を交付しました。また、希望される場合は配偶者にも交付しました。 <交通安全施設維持整備事業> ◆交通事故防止のための交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)の設置や既存施設の修理を適切・迅速に行いました。 <市道改良舗装事業、各市道改良事業>(再掲) ◆通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。 【②防犯対策の推進】 <防犯対策事業> ◆警察、地区防犯組合等と犯罪等が発生が予測される危険箇所のパトロールを行い、被害の防止に努めました。 <防犯対策施設維持整備事業> ◆夜間における安全・安心の確保のため、防犯灯の新設や修繕等の維持管理を迅速、適切に行いました。 ◆令和3年度に実施した防犯カメラの一斉点検により判明した不具合箇所を修理し、正常に作動するようにしました。(魚津駅西駐輪場ほか) 【③相談体制の充実】 <市民相談・消費生活相談事業> ◆専任の消費生活相談員の配置や職員の専門研修会への参加により、相談体制の充実を図りました。また、出前講座の開催による啓発活動に加え、市内商業店舗内市役所お知らせコーナー(みてかれ間!)に消費生活相談に関するリーフレット等を配置するとともに、成年年齢引き下げに伴うトラブル防止のため関連情報をホームページ等で発信しました。			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
【①安全な交通環境の充実】 ◆令和5年8月に死亡事故が発生しました。教育施設や高齢者への交通安全教育を強化し、目標とする「交通死亡事故ゼロ500日」、さらには「1000日」を目指します。 ◆車の運転に不安のある高齢者等が運転免許証を返納した場合に、市民バス無料乗車証(1年間有効)を交付するほか、希望される場合は配偶者にも交付するなど、運転免許証を返納しやすい環境整備に努めます。 ◆通学路合同安全点検を基に危険箇所の対策を行うとともに、各小学校周辺の生活道路対策エリア(5地区)を合わせた、通学路、生活道路の安全対策を重点的に進めます。 【②防犯対策の推進】 ◆防犯関係団体や警察と連携して防犯パトロールや啓発キャンペーンなどを行い、被害の防止に努めます。また、防犯灯の新設や修繕等の維持管理を迅速、適切に行っていきます。 ◆防犯カメラが正常に作動するよう点検・修繕を定期的に行います。 ◆魚津駅南自転車等駐車場に防犯カメラを新設し、自転車の盗難防止を強化します。 ◆特殊詐欺の被害防止についても、引き続き警察や防犯関係団体及び金融機関等と連携し、啓発活動の強化を図っていきます。 【③相談体制の充実】 ◆相談体制の充実や県消費生活センター等との連携の強化を図っていきます。			